

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和1年11月14日(2019.11.14)

【公開番号】特開2019-72549(P2019-72549A)

【公開日】令和1年5月16日(2019.5.16)

【年通号数】公開・登録公報2019-018

【出願番号】特願2019-9135(P2019-9135)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和1年10月2日(2019.10.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

始動口に入賞すると第1図柄の可変表示が実行可能であり、

可変始動口に入賞すると第2図柄の可変表示が実行可能であり、

前記可変始動口を開放状態と閉鎖状態とに制御する可変始動口開閉手段と、

遊技者に利益を付与する大当たり遊技を実行する利益実行手段と、

前記大当たり遊技への移行契機となる小当たり遊技を実行する小利益実行手段と、

可変表示に関する情報を、上限数を限度に保留記憶として記憶する保留記憶手段と、

前記可変始動口開閉手段により前記可変始動口を前記開放状態とする時間が長くなる時

短状態へ前記大当たり遊技の終了後に制御可能な遊技状態制御手段と

を備え、

前記第1図柄よりも前記第2図柄の方が前記大当たり遊技を実行する割合が高くなっています。

前記遊技状態制御手段により前記時短状態に制御されている可変表示において前記第2図柄の前記保留記憶が前記上限数となるように前記保留記憶を貯めさせる保留促進演出が実行され、

前記時短状態が終了した後の通常遊技状態において、前記上限数まで記憶された前記第2図柄の可変表示において特定表示結果が導出されたときに前記小当たり遊技が付与され、該小当たり遊技を実行すると約100%の確率で前記大当たり遊技へ移行するようになっており、該大当たり遊技後には再び前記時短状態に制御される

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

手段1：始動口に入賞すると第1図柄の可変表示が実行可能であり、

可変始動口に入賞すると第2図柄の可変表示が実行可能であり、

前記可変始動口を開放状態と閉鎖状態とに制御する可変始動口開閉手段と、

遊技者に利益を付与する大当たり遊技を実行する利益実行手段と、  
前記大当たり遊技への移行契機となる小当たり遊技を実行する小利益実行手段と、  
可変表示に関する情報を、上限数を限度に保留記憶として記憶する保留記憶手段と、  
前記可変始動口開閉手段により前記可変始動口を前記開放状態とする時間が長くなる時  
短状態へ前記大当たり遊技の終了後に制御可能な遊技状態制御手段と  
を備え、

前記第1図柄よりも前記第2図柄の方が前記大当たり遊技を実行する割合が高くなっています  
り、

前記遊技状態制御手段により前記時短状態に制御されている可変表示において前記第2  
図柄の前記保留記憶が前記上限数となるように前記保留記憶を貯めさせる保留促進演出が  
実行され、

前記時短状態が終了した後の通常遊技状態において、前記上限数まで記憶された前記第2  
図柄の可変表示において特定表示結果が導出されたときに前記小当たり遊技が付与され、  
該小当たり遊技を実行すると略100%の確率で前記大当たり遊技へ移行するようになります  
り、該大当たり遊技後には再び前記時短状態に制御される

ことを特徴とする遊技機。